

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY SERVING HUMANITY

～人類に奉仕するロータリー～

2016-2017年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム



2016-2017年度

会長:高木一平 幹事: 柏木博喜 クラブ会報委員長:加藤智弘

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2016 November 9

■ 2016～2017年度方針
ロータリー 清く 正しく 面白く

NO.18

例会報告

●第2151回例会 平成28年11月9日(水) 晴

●11月はロータリー財団月間

●もみじ夜間例会 18:00～ か茂免

●ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 104 名中 出席38名
(81)

出席率46.91% 修正出席率86.81%
(10月26日分)

●ビジター紹介

(ウェスティンナゴヤキャッスルへのビジター受付)

岩部 雅人君(半田南RC) 外32名

●ニコボックス

「もみじ例会を楽しく過ごしましょう。」

柏木順壺君、黒田史郎君、加藤智弘君
上野山 進君、榎野智之君、大森和仁君
安井隆豊君、二村伝治君、田中知克君
本多國泰君、南 喜幸君、佐藤公俊君
桑山卓也君、浅野 洋君、田中正次君
久保哲政君、小池康資君、加藤寿彦君
夏目 稔君、山本秀樹君、近藤東臣君
高木一平君、久保和彦君、内間三好君
武藤茂樹君、渡邊泰幸君、石川一郎君
加治佐健二君、富島照男君、亀谷喜敬君
伊藤尚貴君、片桐寛治君、丸山弘昭君

本日のニコボックス 1件 64,000円
累 計 76件 627,000円

柏木博喜幹事報告

▽当クラブ行事予定

・11月23日(水) 祝日のため、休会です。

・11月30日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

※クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。理事及び役員のご出席をお願い致します。

- ・12月7日(水) 年末会員家族懇親会、場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。
登録・受付 17時～
開会 17時30分～
閉会 20時頃予定
※ウェスティンナゴヤキャッスルでのお昼の例会はございません。
- ・12月14日(水) 卓話終了後、年次総会を開催致します。

高木一平会長挨拶



アメリカ大統領選は番狂わせか?

とうとうアメリカ大統領選挙でトランプ氏が勝利を得てしまいました。

アメリカのメディアは元々多くがリベラル側に偏っており、今回の大統領選でもそのほとんどがクリントン支持でトランプ嫌いに立っていたので、我々外国人から見ればこれがアメリカ国民全体の世論であると勘違いしても不思議はありません。ところが直前のアンケート調査では国民の支持は両者ほぼ互角という結果でした。これを見てメディアの言うことは何か変だなと思っていたらこの結果です。冷静に分析していた人でもトランプ氏がクリントン氏に肉薄はするだろうがまさか勝つことはないと考えていたはずで、日本のジャーナリストではわずかに木村太郎氏がトランプ氏有利を言っていたくらいです。

私は今回の選挙の政治的教訓は「サイレントマジョリティの存在をどう感じるか、どう扱うか」ということだと思います。おそらくアメリカでは暴言問題はあるにせよ、トランプ氏の政策に好感を持っている隠れ支持者が予想以上に多いはずで、その人々は自分がトランプ支持であることを表明するのを恥ずかしく感じている可能性が高いのです。つまりトランプ支持なら自分の知性と見識を疑問視される風潮があり、これがアンケート結果でさえ本当の支持率が出なかった原因ではないかと思えます。ところが実際の投票行動では本音が出たということです。

こういうことは日本の政治や組織の中でも、おそらくロータリーでもよくあることのように思われます。つまり

一部のノイジーマイノリティの煽動で場の空気が偏ったかに見えても、実際の物事の落ち着き所は意外に常識的で真っ当なことが多いのです。もちろんトランプ支持者が全て常識的とは言いきれませんが。

大きな声を上げなくても強固な意志を持っているサイレントマジョリティをどのように遇して、活用していくかで組織の成熟度と活力が測れるように思います。

第4回「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」報告

WFF実行委員会 委員長 加藤 陽一
今年も当2760地区が主催するチャリティーイベント「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」(WFF)が10月22日と23日の2日間に渡って華やかに開催されました。第4回目を迎えた今回は、「ロータリー財団100周年」をお祝いする記念すべきイベントです。

名古屋市内の中心にある久屋大通り公園の会場(8,000㎡)では25軒の専門料理店や18軒の工芸品店が立ち並び、また3か所に設けたステージではブラジル・サンバやアフリカのドラムなど各国の踊りや歌が披露され、世界の異文化で会場は賑わいました。さらに、ロータリアンの憩いの場として設けたロータリー広場では地区内から分区毎にご出店いただき、工夫を凝らしながらご当地自慢の料理や特産品で来場者を楽しませていただきました。

今回もローターアクトの皆さんはチャリティーバザー、米山記念奨学生たちはドリンクブース、RYLAのメンバーは綿菓子の販売、交換留学生インバウンドのメンバー10名はステージで活躍してくれました。そして250名を超えるインターアクトの皆さんは広い会場内のゴミ清掃で大活躍でした。第1回WFFからインターアクトの皆さんははじめ若者達が見せてくれる「笑顔で奉仕」の精神は来場者に大きな好印象を与えてくれています。まさに「公共イメージの向上」を体現してくれています。我々ロータリアンたちも負けてはいられません!

さて、今回は『ロータリー財団100周年』の記念事業です。台湾からはゲーリー・ファン元RI会長(現ロータリー財団管理委員)、埼玉からは北清治元RI理事(現ロータリー財団管理委員)がこのイベントのためだけに会場にきていただきました。当地区の斎藤直美RI理事や服部地区ガバナー、多くのパストガバナーやロータリアンの仲間たちとお二人をお迎えできたことは嬉しく思います。さらにインドネシア(3410地区)からパストガバナー2名とガバナーノミニーを含めて計10名、フィリピンからは3830地区と3780地区を合わせて計18名、そして韓国ソウル(3640地区)から地区社会奉仕委員長もお祝いに駆けつけてくれました。その他にもドイツ、オーストラリア、ニュージーランドのロータリアンたちの姿もありました。国内からも2570地区の細井ガバナーエレクトなどが視察&応援に駆けつけてくれました。

第1回から一貫して会場内にはロータリー広報パネルを大小合わせて約50か所に設置し、一般来場者に対して広く「ロータリー認知度の向上」に努めていますが、今年はそこに『祝!ロータリー財団100周年』という嬉しい言葉が加わりました。また新しい取り組みとして『R

財団100周年記念タオル』を作り、チャリティーとして販売しました。11月5日&6日の地区大会でも販売します。あらかじめRI本部のライセンス管理部門とデザインなどを協議して承認を得ての販売で、実は日本では初めての取り組みです。

好天に恵まれ今回の入場者は6万人超で、イベントは大成功でした。ファン元RI会長も2日間に渡り一緒にロータリー財団100周年をお祝いしてくれました。そして開会セレモニーと閉会セレモニーでいただいたスピーチでは『このイベントをずっと続けてほしい。奉仕につながるこのようなイベントを続けることは、ロータリーがこの先もずっと「世界に良いことをする」という覚悟の表れでもあるのですから』という温かく力強いメッセージもいただきました。

第1回と第2回の収益金でカンボジアの簡易水道施設やトイレ、井戸、学用品などを寄贈し、第3回の収益金ではミャンマーで貯水タンクやトイレ、学用品を寄贈しました。今回の収益金ではインドネシア・ジャカルタで現地(3410地区)の仲間たちが続けているスラム地区の子供たちのための教育支援事業に役立てる予定です。また例年通り収益金のうち1万ドルはエンドポリオ活動基金に寄付します。

支えてくれるスポンサー企業の皆さん、会場で働くボランティアの皆さん、出店者の皆さん、そして地区内4,800人すべてのロータリアンの皆さんに心から感謝申し上げます。そして来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

最後に1年間に渡り準備を重ね、また当日も会場でそれぞれの持ち場で頑張ってくれたWFF実行委員会の皆さん、お疲れ様でした。



例会	月日	今後の予定
第2152回	11. 16	会員 國分孝雄君 「リオ・オリンピックに参加して」
第2153回	11. 30	元気象庁本庁海上総括予報官 小坂順一氏 「自然環境である気象と 防衛の関係について考える」
第2154回	12. 7	年末会員家族懇親会 ウェスティンナゴヤキャッスル 17:00~受付 17:30~開会

○このウィクリーは再生紙を使用しております。